

2018、2022 FIFAワールドカップ招致に向けて

JFA 『FIFAワールドカップ招致本部』を設置

2018年、2022年FIFAワールドカップ単独開催に向けた招致活動を開始した

1. 今後のW杯開催国 (直近2大会で開催した大陸からは立候補できない)

2010年 南アフリカ

2014年 ブラジル

2018年 今までの慣例では欧州開催(イングランド、スペイン/ポルトガル等)

2022年 アジア枠? (韓国、中国、インド、オーストラリア等)

2. W杯2度目開催のこれまでの間隔

・ブラジル 64年間 ・フランス 60年間

・イタリア 56年間 ・ドイツ 32年間

30年～60年の間隔があった。

(社) 群馬県サッカー協会

2018、2022 FIFAワールドカップ招致に向けて

- JFAの考え方
- ・間隔が短いからこそより素晴らしいW杯が開催できる
 - ・2002 FIFAワールドカップではやり残したことがある

JFA 2005宣言: 『2050年までにFIFAワールドカップを開催する』の**具現化**

3. 求められる大会理念、コンセプトの独自性

ex) 環境負荷の低い大会運営プラン (日本の最も得意とする分野)

4. FIFAの新しい基準

- ・FIFAに提案するスタジアム数: 最低12~最高18
- ・観客数: 最低40,000人、準決勝以上は最低80,000人

5. キャンプ地

- ・FIFAに提案するキャンプ地数は、最低64
- ・キャンプ地の選定にもFIFAが関わるようになった

(社) 群馬県サッカー協会

2018、2022 FIFAワールドカップ招致に向けて

JFA としての今後の日程、取り組み

1. 7月～8月に都道府県FA向け説明会を開催する

- ・群馬県としては一歩先を行く取り組みを！

2. 今回の開催に向けた意志表示の期日 (2通りの進め方を考えている)

一発で手を挙げて頂く方式 = 今年の秋 又は、年明けに締め切り

2段階で手を挙げて頂く方式

- ・立候補に興味があるかの意思表示 = 遅くとも今年の秋締め切り
- ・正式な立候補 = 今年の秋 又は、年明け締め切り

3. 対象として新設の会場も含むのか？

- ・新設のところも もちろん含めて募集する

(社) 群馬県サッカー協会

2018、2022 FIFAワールドカップ招致に向けて

【群馬FAとしての取り組み】

58国体からの2巡目国体の開催を宣言する

- ・2018で35年、2022で39年が経過する
- ・2巡目国体の開催とW杯招致と連携した取り組みで夢の実現を目指す

スタジアム 国民体育大会 FIFAワールドカップ

参考資料

1. 2002W杯会場で国体会場として建設されたところ

- ・国体 = 宮城、埼玉、横浜、新潟、静岡、神戸、長居、大分
- ・高校総体 = 鹿嶋

2. 今後の国体開催地

- ・開催年の6年前に日体協が視察を行い内定する
- ・長崎県までは内定

【国体開催県】

回数	西暦	平成	開催地
64回	2009	21	新潟県
65回	2010	22	千葉県
66回	2011	23	山口県
67回	2012	24	岐阜県
68回	2013	25	東京都
69回	2014	26	長崎県
70回	2015	27	和歌山県
71回	2016	28	岩手県
72回	2017	29	愛媛県
73回	2018	30	福井県

(社) 群馬県サッカー協会